

韓国・大邱広域市への代表団等の派遣について（帰国報告）

1 概要

本市と韓国・大邱広域市は、平成 9 年の姉妹都市提携以来、文化、スポーツ、青少年、経済、観光など幅広い分野で交流を積み重ね、平成 11 年度からは隔年で代表団と芸術団を相互に派遣しており、令和 7 年度は大邱広域市の代表団等を本市に受け入れた（新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年度から令和 4 年度までは相互派遣を中止）。

令和 8 年度は本市から大邱広域市を訪問する年にあたることから、代表団及び芸術団を派遣し、両市間の相互理解と友好親善の増進を図った。

2 訪問者

(1) 代表団（6 名）

- ・市：松井市長、市民局職員 2 名
- ・市議会：八條議長、平岡議員、議会事務局職員 1 名

(2) 芸術団（12 名）

広島ジュニアマリンバアンサンブル 11 名、市民局職員 1 名

3 訪問日程

(1) 代表団

令和 8 年 8 月 20 日（木）～22 日（土） 2 泊 3 日

(2) 芸術団

令和 8 年 8 月 21 日（金）～23 日（日） 2 泊 3 日

4 主な用務

(1) 8 月 21 日（金）

ア 秋慶鎬（チュ・ギョンホ）大邱広域市長との面会

秋慶鎬大邱広域市長を訪問し、懇談を行った。松井市長にとって、本年 7 月に就任した秋市長と初めて面会する機会となった。

冒頭、秋市長からは、松井市長の大邱訪問を歓迎するとともに、広島市と大邱広域市が 1997 年の姉妹都市提携以降、長年にわたり様々な分野で交流を積み重ねてきたことに触れ、「今後も両市の友好関係を一層発展させていきたい。」との挨拶があった。また、大邱広域市では、自動車、ロボット、未来のモビリティなどの産業を積極的に育成しており、今後は、経済交流、人的交流や文化交流など、様々な分野において広島市との交流を進めていきたいとの考えが示された。

これに対し、松井市長からは、秋慶鎬市長の就任に対する祝意を述べるとともに、世界最大級のマスターズ陸上競技大会である「2026 大邱世界マスターズ陸上競技選手権大会（WMAC2026）」の開催に対し祝意を表した。また、両市がこれまで文化、スポーツ、青少年分野など幅広い交流を積み重ねてきたことを振り返り、来年迎える姉妹都市提携 30 周年を契機として、両市の友好関係をさらに発展させていきたいとの考えを述べた。

懇談では、両市の交流の歴史や今後の交流促進等について、幅広く意見交換を行った。特に人的交流については、広島市から大邱広域市に派遣されている職員について、秋市長から「両市の交流を象徴するような存在」として、現地での活躍を高く評価する発言があり、人的交流の重要性について意見が交わされた。

松井市長からは、平和首長会議の会長として、平和首長会議の取組を通じた ASEAN 主要都市との交流促進について説明し、大邱広域市に協力を依頼した。

この会談は、終始和やかな雰囲気の中、当初の予定時間を大幅に超えて行われた。



秋慶鎬（チュ・ギョンホ）市長との記念写真



会談中の様子

イ 任仁煥（イム・インファン）大邱広域市議会議長との面会

面会の冒頭、任仁煥議長からは、本市代表団の訪問を歓迎するとともに、これまで両市が長年にわたり交流を積み重ねてきたことに触れ、「二年前のスポーツ交流が実を結び、こうして再びお会いできることを大変嬉しく思う。」との挨拶があった。また、本市芸術団による公演についても、両市の友好関係を物語るものであるとの発言があり、今後も広島市と大邱広域市が互いに最高のパートナーとして、様々な分野で交流を深めていきたいとの考えが示された。

これに対し、八條議長からは、これまでの両市の交流の積み重ねに対する謝意を述べるとともに、今後も議会間交流を通じて相互理解を深め、両市の友好関係を一層発展させていきたい旨の挨拶があった。

その後の懇談では、これまでのスポーツや文化・芸術分野における交流を振り返るとともに、来年迎える姉妹都市提携 30 周年を見据え、今後も様々な分野で交流を継続・発展させていくことについて意見交換を行った。



任仁煥（イム・インファン）議長との記念写真

ウ 大邱広域市長主催歓迎昼食会

秋市長主催の歓迎昼食会が開催され、任大邱広域市議会議長も同席し、両市代表団による歓談が行われた。昼食会では、両市の代表者が互いに質問し、それに答える形で多岐にわたる意見交換が行われた。

副首都、広域都市圏、選挙、女性の社会進出などについて話題が及び、両市の代表者が率直に意見を交わすことで、相互理解を深めるとともに、今後の両市の交流促進に向けた親睦を深める機会となった。



歓迎昼食会の様子

エ 大邱図書館視察

大邱図書館は、大邱広域市の図書館政策及び読書振興施策の中核を担う広域代表図書館として、2025年11月に開館した施設であり、地下1階から地上4階まで、延床面積約15,000㎡を有している。

館内には、一般資料室、児童資料室、デジタル資料室、青少年空間、講堂等が整備されており、知識・文化・学習の拠点としての役割を担っているとの説明があった。また、大邱広域市における図書館政策や施設運営の現状について説明を受けるとともに、各階の閲覧スペースや資料室、文化講座室等を見学した。

本市においても、中央図書館の移転が完了したことから、図書館運営や施設整備に関する取組について理解を深める有意義な視察となった。



大邱図書館内見学



大邱図書館ギャラリーにて

オ 2026 大邱世界マスターズ陸上競技選手権大会（WMAC）開会式への出席

大邱スタジアムにおいて開催されたWMAC2026開会式では、参加国・地域の選手団入場、国家斉唱、大邱広域市長等による挨拶、開会宣言、大会旗掲揚、選手及び審判宣誓が行われた。開会式前後には、大邱の歴史や文化を題材とした公演（市立国楽団、テコンドー実演、舞踏等）が披露され、多くの来場者で賑わう盛大な開会式となった。開会式の模様はテレビ中継されており、選手団、ボランティア、観客が参加する大規模なイベントであった。



開会式の様子

(2) 8月22日(土)

ア 思惟園(サユウォン)視察

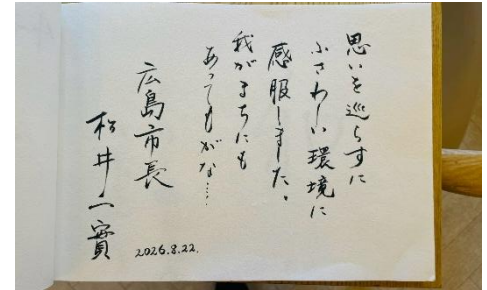
思惟園(サユウォン)は、大邱広域市郡威(クヌィ)郡の私有地に設立された約15万坪の広大な敷地を有する樹木園であり、自然、建築、芸術、美食が融合した空間として整備されている。

園内には世界的な建築家による建築作品や、約1,100種の樹木・植物が植栽されたテーマ庭園が配置されており、自然景観と建築美が調和した特色ある施設である。

施設の整備経緯や運営方針等について説明を受けながら園内4箇所を視察した。視察後、松井市長は芳名録に「思いを巡らすにふさわしい環境に感服しました。我がまちにもあってもがな…」と記帳した。



瀏園(ユウォン)



芳名録

イ 本市芸術団公演観覧

大邱視聴者メディアセンターにおいて、本市芸術団である広島ジュニアマリンバアンサンブルによる公演を観覧した。公演に先立ち、松井市長はWMAC2026組織委員会の秦基勳(チン・ギフン)事務総長と挨拶を交わし、秦事務総長からは、「ぜひ広島でも世界マスターズ陸上を開催していただきたい。」との要請があった。これに対し、市長からは、「前日の開会式に出席し、大会の企画・実行力に感服した。大邱広域市とのスポーツ交流を深化させるため、御提案についてよく検討したい。」と述べた。

公演では、広島ジュニアマリンバアンサンブルが息の合った演奏を披露した。歌、ダンス、獅子舞や和太鼓を使用した演出もあり、来場者から大きな拍手が送られた。本公演を通じて、言葉などの違いを超えて感動を分かち合える芸術文化による交流の重要性を改めて感じるとともに、本市と大邱広域市との友好関係の深化につながる機会となった。



秦基勳(チン・ギフン)事務総長との面会



本市芸術団による公演